

## 市民の声（9月分）

<p><b>意見 9</b></p>	<p>R3.9.6 職員の電話対応について</p> <p>2021.9.6に環境管理課の方に隣地の雑草の件で連絡しました。話が終わっていないにもかかわらず、一方的に電話を切られてしまいました。その後すぐに連絡し、謝罪していただいたが、非常に失礼な行為に当たります。</p> <p>今後はこのようなことがないように市役所内で徹底してほしいです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
<p><b>回答</b></p>	<p>R3.9.27 職員課、環境管理課</p> <p>日頃より市行政の推進におきまして、ご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。</p> <p>この度は、本市の電話対応に際しまして、職員に至らない点があり、**様にご不快な思いをさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。</p> <p>市では、日頃から市民の方との電話対応に際し、細やかな心配りを心がけているところですが、**様よりお問い合わせのありました際には、職員は電話の内容が終わったものと勘違いし、通話の途中にも関わらず電話を切ってしまい、**様に大変不快な思いをさせることとなってしまいました。</p> <p>電話の対応に際して、お話を最後まで伺うことはもちろん、お電話いただいた方に不快な思いをさせることがないように、職員に対してより一層丁寧な対応を心がけるように徹底してまいります。</p> <p>市としましては、電話や窓口対応は、公務員として身に付けるべき重要なマナーと認識しており、日頃から上司や同僚による指導助言のほか、職員の経験年数にあわせ、外部講師を招いた研修の受講などを実施しているところです。</p> <p>今後も接遇全般について、このような取組を継続して実施していくとともに、市民の方が心地よく安心して利用できるよう、より高い行政サービスの提供を心掛けてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>
<p><b>意見 10</b></p>	<p>R3.9.16 道路の側溝蓋の整備について</p> <p>先般、LINEにて「狭あい道路拡幅整備事業」を実施中との連絡をいただきました。</p> <p>この事業に関連して、住宅地道路の側溝蓋の整備を進めていただけないものかとお伺いする次第です。</p> <p>狭あい道路とは道幅4m以下を想定されているようですが、福王台地区、長浦地区等の住宅地は6m幅の道路でありながら両側には側溝があり、車がすれ違ったり駐停車の車が</p> <p>あった場合には走行車を避けるのに側溝に気を取られ非常に危険です。</p> <p>特に、自転車や雨の日に傘をさしている場合などは非常に危険です。</p> <p>住宅地道路の側溝蓋の整備につきましては、小泉市長の頃よりお願いしており、出口市長の平成20年になってようやく通学路指定(?)の道路だけは溝蓋を設置していただきました。これにより特に昭和小学校の児童たちの通学歩行帯は広くなり安全性が格段に良くなったと思います。しかし乍ら、指定通学路以外につきましては、未だに全く進められておりません。</p>

	<p>平成20年頃のご回答は、「全線整備には巨費を要し、現在の財政事情から早急な整備は困難でございます。交通量、危険度等を踏まえながら検討をしていきたいと考えます。」とのことでした。その後どのようなご検討をしていただいたのでしょうか。</p> <p>前述のように、両側側溝の道路は4mほどの狭あい道路よりも逃げ場がなく側溝に落下して大けがをするリスクがあります。実際に落下してけがをした人や車を脱輪した人を見てきました。</p> <p>どうか、少しずつでも整備を進めていただけないでしょうか。再検討をよろしく申し上げます。</p>
<p><b>回答</b></p>	<p>R3.10.11 土木管理課</p> <p>日頃より市行政に対し、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。</p> <p>この度、ご意見をいただきました住宅地内道路への側溝蓋の設置についてですが、本市においては長浦駅前や福王台等において通学路を優先し、蓋付の側溝への整備を実施しております。</p> <p>通学路については危険度等を踏まえながら引き続き整備を進めるとともに、通学路以外においても、地元区等からの要望を踏まえ、毎年度整備を進めており、今年度も奈良輪地区等で工事を実施しているところです。</p> <p>ご要望いただきました市内の住宅地内における狭あい道路全線での側溝の蓋掛につきましては、多大な事業費を要することもあり、早期に全線整備することは厳しい状況であります。</p> <p>しかしながら、今後も市や関係機関、地元区等との調整を図りつつ道路の安全対策につきまして順次実施してまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>